

授業科目名	小児看護学(学童期)	担当教員	◎吉川一枝、吉野妙子
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義 15時間

【授業概要】

社会環境、生活の変化により、子どもを取り巻く状況や疾病構造も大きく変化している。とくに学童期の小児では、アレルギー、肥満など生活習慣病やその予備軍の子どもが増加傾向にあり、健康問題のひとつにもなっている。また、慢性疾患を抱える子どもにとっては、施設に入院せずに外来で通院しながら家庭で療養する在宅看護の方向にシフトし、病気や障害のある子どもが地域で生活していく上で外来看護の役割は拡大している。そこで、本講では外来で通院しながら家庭で療養する学童期の小児と家族に焦点をあて、その看護の実践方法を学び、学童期の小児の看護について考察を深める。

【授業目的・目標】

1. 健康管理を必要とする学童期にある患児と家族への看護について理解する。
2. 外来や在宅（家庭や学校など）で治療を続ける患児と家族の支援について理解する。
3. 慢性疾患を抱えながら学校生活をおくる患児への援助について理解する。
4. 学童期における生活習慣病の予防について理解する。

【履修条件】

「小児保健看護学概論」、「小児保健看護援助論」、「小児保健看護学臨地実習」を修得していること

【授業計画】

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| [01] 学童期とは：ビデオ視聴、授業の進め方 | (吉川・吉野) |
| [02] 学童期の小児を知ろう：学童期の成長発達 | (吉川・吉野) |
| [03] 学童期の小児を知ろう：諸統計からみる学童期の小児 | (吉川・吉野) |
| [04] 学童期の小児を知ろう：学童期の小児と学校保健 | (吉川・吉野) |
| [05] 学童期の小児を知ろう：学童期の小児にみられる健康問題 | (吉川・吉野) |
| [06] 慢性疾患の子どもの学校生活：病気をもつ学童期の小児と学校生活 | (吉川・吉野) |
| [07] 慢性疾患の子どもの学校生活：学童期の小児のセルフケアを支える看護 | (吉川・吉野) |
| [08] 小児看護学実習（学童期）実習計画作成 | (吉川・吉野) |

【教科書】

1. 満留昭久編集（2014）慢性疾患の子どもの学校生活、慶應義塾大学出版会

【参考書】

参考書は適宜紹介する。

【評価方法・評価基準】

課題レポート（80%） プレゼンテーション（20%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：小児保健看護学概論、小児保健看護援助論、小児保健看護学臨地実習での学習内容を想起する。具体的には、テキストや授業・実習時の資料を見直す。可能であれば、学童とふれあう機会をもつ。

事後学習：既習内容を復習し、小児看護（学童期）臨地実習に繋げる。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ．根拠に基づいた看護実践能力、Ⅴ．多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力、Ⅵ．ヘルスプロモーションと予防に関する知識と実践能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

個人およびグループ学習による課題レポートは返却または全体に口頭でコメントする。また、必要に応じて個別に返却する。

【備考】

主体的に課題に取り組むことを期待する。